

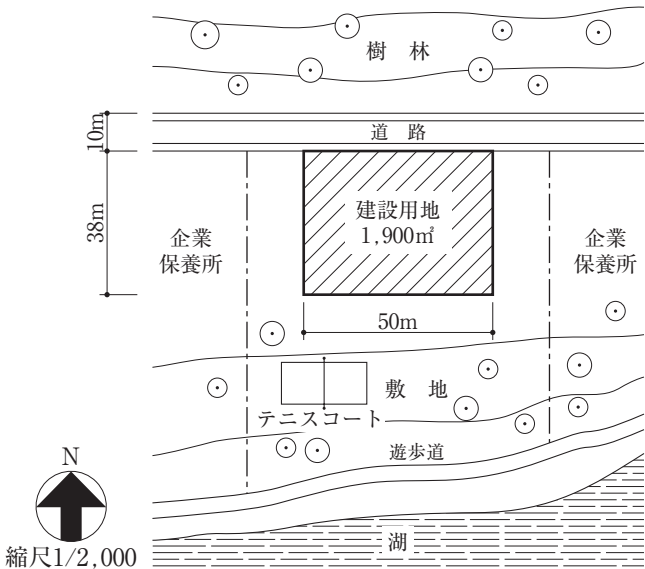
設 計 課 題 大学のセミナーハウス

I. 設 計 条 件

この課題は、湖畔の景勝地において、大学のセミナーハウスを計画するものである。本施設は、学生と教員とが生活を共にしながら研修を行い、相互の交流を深めるとともに、施設の一部を地域住民など一般の利用にも開放し、趣味活動や技能習得の場を提供するものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。この敷地のうち本施設の建設可能な建設用地は斜線で示した部分である。
- (2) 建設用地は、平坦で、道路及び敷地内の隣接する部分との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- (3) 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、建築物に対して次の制限がある。
 - ① 建設用地面積に対する建ぺい率の限度は70%、容積率の限度は200%とする。
 - ② 主要な屋根は、湖畔(南側)及び前面道路側(北側)に下る勾配屋根とする。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- (6) 地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- (1) 構造、階数等
構造種別は自由とし、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- (2) 床面積の合計
床面積の合計は、1,800㎡以上、2,200㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- (3) 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室 名	特 記 事 項	床面積	
セミナー部門	セミナー室A	・ 合同セミナーや講演会などに使用する。 ・ 準備室を設ける。 ・ 可動間仕切により 2 室(約60㎡ / 1 室)に分割できるようにする。	約150㎡	
	セミナー室B		約 60㎡	
	サークル室	・ 小グループのサークル活動に使用する。	約 40㎡	
	実 習 室	・ O A 機器を設置し、パソコン等の実習を行う。 ・ 地域にも開放し、学外者を対象とした実習会を開催する。	約 60㎡	
	交 流 ロ ビ ー	・ 学生及び実習会参加者が、休憩・談話等に利用できるスペースとする。	適 宜	
	展 示 ホール	・ 卒業生の卒業論文・卒業制作などの展示を行い、学生の実習成果の発表会などにも使用する。	約 80㎡	
宿泊部門	* 宿泊部門は、すべて 2 階に計画する。			
	宿 泊 室 A	・ 洋室(2 人部屋、約20㎡ / 1 室)を10室設ける。 ・ バス・トイレ・洗面ユニット付きとする。 ・ バルコニーを設ける。	計約200㎡	
	宿 泊 室 B	・ 和室(4 人部屋、約40㎡ / 1 室)を 3 室設ける。 ・ バス・トイレ・洗面ユニット付きとする。 ・ バルコニーを設ける。	計約120㎡	
	講師用宿泊室	・ 洋室とし、車いす使用者用宿泊室を兼ねる。 ・ バリアフリーに配慮したバス・トイレ・洗面ユニット付きとする。	約 40㎡	
	ラ ウ ン ジ	・ 宿泊者の休息・談話等に利用できるスペースとし、自動販売機コーナーを設ける。 ・ 湖の景観を楽しめるようにする。	約 60㎡	
	給 湯 室 リ ネ ン 庫	・ ラウンジに隣接して設ける。	適 宜	
共用部門	エントランス ホ ー ル	・ 風除室を設ける。 ・ 吹抜(40㎡以上)を設ける ・ コインロッカーを設ける。	適 宜	
	食 堂	・ 厨房を設ける。 ・ テーブル、いす等を設ける。 ・ バーベキューテラスと直接出入りできるようにする。	約110㎡	
	浴 室	・ 男性用、女性用として各 1 室設ける。 ・ 各浴室に脱衣室を設ける。	計約 70㎡	
	洗 濯 室		適 宜	
管理部門	管 理 事 務 室	・ 受付カウンターを設ける。	約 30㎡	
	宿 直 室	・ 和室を設ける。 ・ バス・トイレ・洗面ユニット付きとする。	約 30㎡	
	職 員 休 憩 室	・ 男性用、女性用として各 1 室設ける。	適 宜	
	設備スペース	・ 採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気等)、屋外機置場等を計画する。		
・ 上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。 ・ その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。				

3. そ の 他 の 施 設 等

- (1) バーベキューテラス(50㎡以上)を食堂の屋外に設ける。
- (2) 駐車場は、平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。なお、これ以外の施設利用者用及び職員用の駐車場については、敷地外に別途計画されているものとする。
- (3) 駐輪場は、施設利用者用として20台分を設ける。
- (4) ごみ置場を設ける。
- (5) 敷地内のテニスコートへの連絡口を設ける。
- (6) (1)～(5)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 敷地の周辺環境に配慮する。
 - ② セミナー部門、宿泊部門、共用部門及び管理部門を適切にゾーニングし、施設利用者動線と職員動線とが交差しないような計画とする。
 - ③ バリアフリーに配慮する。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - ② 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - ③ 耐震に配慮する。
 - ④ 部材の断面寸法を適切に計画する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
 - ② エレベーターを適切に設ける。
 - ③ 自然採光を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射遮蔽にも配慮する。

II. 要 求 図 書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要 求 図 面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図 面 及 び 縮 尺	特 記 事 項
(1) 1 階 平 面 図 兼 配 置 図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割に応じて必要となる構造要素(凡例の空欄に記入し、図示する。) ニ. 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ヘ. 断面図の切断位置 ト. セミナー室A及びB、サークル室、実習室、交流ロビー、展示ホール、食堂、浴室、管理事務室及び設備機械室の床面積 ② 宿泊室A、B、講師用宿泊室及び宿直室については、次のものを図示又は記入する。 イ. 各宿泊室のうち代表的な1室の室内プラン及び床面積 ロ. 各宿泊室の出入口、パイプスペース ハ. 各宿泊室の表示(宿泊室AはA1～A10、宿泊室BはB1～B3) ③ 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. バーベキューテラス(面積を記入する。) ハ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ニ. テニスコート連絡口 ホ. 通路、植栽、ごみ置場等 ④ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分
(3) 断 面 図 1/200	① 切断位置は、セミナー室Aを含み、建築物の全体の立体構成及び屋根形状(勾配屋根)がわかる断面(南-北)とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4) 2 階 梁 伏 図 1/200	① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使用した場合の断面寸法は、H-○×○のように記入する。

2. 面 積 表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 敷地周辺の良好な環境の活用について、工夫したこと
 - ② セミナー室及び実習室の計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
 - ③ 宿泊室の計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
- (2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
 - ② 耐震計画について、工夫したこと
- (3) 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 建築物に採用した空調方式と採用した理由
 - ② 建築物に採用した給水方式と採用した理由
 - ③ 設備スペース及び設備シャフトの配置計画について、工夫したこと

会 員 番 号					氏 名		受 験 地